

# 風とよせ

地域と医療を結ぶ広報誌

vol.20  
2011.10

発行

編集:福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 住所:〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1  
TEL:(0248)22-2211 FAX:(0248)22-2218 HP:<http://www.shirakawa-kosei.jp/>



## contents

- ごあいさつ「東日本大震災から半年が経って」…2
- 新聞掲載記事のご紹介 ……3・4
- 健康講座「糖尿病について」 ……5・6
- 抗凝固剤や抗血小板剤を服用中の方へ…6
- インフォメーション ……7・8
- こんにちは！新任・転任です ……8
- 外来診察日割表 ……9
- 平成24年度看護学生募集のお知らせ ……10



福島県厚生農業協同組合連合会

白河厚生総合病院

# 東日本大震災から 半年が経って



病院長 前原 和平

東日本大震災からはや7ヶ月が経とうとしております。9月30日に緊急避難準備区域が解除され復旧に向かいつつはあるものの、現在仮設住宅や借り上げ住宅で避難生活を送っている方々が元の生活を取りもどすまでには、まだまだ遠い道のりがあるように思います。避難をされている皆様の健康を守ることが、病院の第一の責務と考えておりますが、皆様におかれましてもご自愛下さるようお願い申し上げます。当院は、これまで一次避難所である那須甲子青少年自然の家とリステル猪苗代の巡回診療、また避難区域一時帰宅時の医療救護班派遣を行ってまいりました。これからも病院としてでき得る限りの支援をしていきたいと思っております。

現在、県内の医療は深刻な危機に直面しております。原発事故により退避を余儀なくされた浜通りの病院では半年を経てようやく東京電力の補償が始まろうとしているところです。また、報道されているように相双、いわきに加えて県北、郡山・県中においても病院スタッフの自主退職があとを絶たず、医療スタッフの県外流出が続いておりますが、このようななか、県南医療圏と会津医療圏では震災前と変わらない医療体制が維持できております。職員一同、一層の自覚をもって診療の充実を図って行きたいと思っております。

震災時、病院はほとんど無傷で残りましたが、断水などにより一部の診療を制限せざるを得ませんでした。ただし、医薬品や食料の備蓄、および情報システムなどを含めた総合的評価が被災三県のなかで最も優れた災害拠点病院であるとして読売新聞より取材を受けました。このような病院の現状を僥倖として、福島県内、そして県南医療圏における役割を果たしてまいりたいと思っております。

## 白河厚生総合病院の理念

私たちは

1. 医療、保健、福祉事業を通して地域住民の健康を守り、豊かな暮らしに貢献します。
1. 県南の中核病院として関係機関との連携を深め、地域医療の向上に努めます。
1. 患者さんを全人的に理解し、優しさと思いやりをもって接します。
1. 十分に説明をし、患者さんの意思を尊重した医療を実践します。
1. 使命を自覚し、たゆまず研鑽を積んで医療の質の向上と人材の育成に努めます。

7月1日 日本農業新聞掲載記事(取材協力)

**市況データサービス**

詳しくは日本農業新聞  
ホームページ (e農net) で  
http://www.agrnews.co.jp/  
☎ 03-5295-7428 (東京部局)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

**日本農業新聞**



厚生の被災者に話し掛ける稲谷医師。厚生は被災地医療の重要な役割を担う(福島県浪江町で)

**ケア励む福島・厚生連病院**

東日本大震災発生から5カ月が過ぎたが、いまだ約8万7000人が避難生活を送る。福島県の厚生連病院では医師らが避難所を訪れ、被災者の体の健康に気を配るとともにメンタルケア(精神面の援助・介護)にも取り組む。震災発生から時間がたつにつれて緊張感が徐々に喪失や喪失感に変わり、家族を失った悲しみや仕事がない無力感から、鬱(うつ)や自殺を引き起こす心配が出てくるためだ。国との連携も構築し、助かった命を守り抜く方策を探っている。

(坂本留佳子)

**緊張解け、内面心配  
孤立化回避へ方策探る**

東京電力福島第1原子力発電所の事故で、福島県双葉町民約680人が避難する浪江町のホテ。JA福島厚生連浪江厚生病院の稲谷英作医師が訪れると、石澤亮子さん(83)が「先生、久しぶりだあ」と手をたいて喜んだ。

石澤さんは、震災前は元気に農作業をこなしていたが、避難生活で体調を崩して入院。今は車椅子で生活する。同じ部屋で暮らす隣の百合子さん(83)は「先が見えず、震災前のようには笑えなくなっていた。久しぶりに母の笑顔が見られてうれ

しい」と涙を浮かべた。稲谷医師は「慣れないホテル暮らしで、帰宅のめども立たない。不安でいっぱいだろう」と、避難生活の精神状態を気遣う。稲谷医師も、かつては双葉厚生病院勤務だったが震災で閉鎖され、町外に避難する身だ。ホテに身を寄せる話とは顔なじみ。話しやすい雰囲気ですぐに生まれる。「だからさ、ちょっとした心身の変化に気付くのではないかと」と浪江厚生病院の前原和平院長はみる。

稲谷医師は看護部、薬剤師とともに7月下旬から1回、同ホテルで健康相談を行う。「調子が悪って頭痛がする」「眠れないので薬が欲しい」。高齢者を中心に1日7、80件の相談を受ける。血圧を測ったり聴診したり、症状によっては薬を処方する。「体調不良は精神的なものから来る場合もあるんで、注意して診なければいけない」と、必要に応じて専門医も紹介する考えだ。

国も、被災者のメンタルケアには力を入れる。厚生労働省は、精神科医らの専門家チームをつくり、岩手、宮城、福島3県の避難所に派遣している。

旭元の保健師や医師と情報を共有してきた。同省は「緊張が解けた今の方が震災直後よりも態になりやすい。今後は現地に滞在する形で、ケアを続けたい」としている。

課題は「仮設住宅に移った後のケア」(稲谷医師)。同ホテルは8月下旬に避難所を閉鎖する予定だ。仮設の仮設住宅では情報が入りにくくなり、話し相手が減るなどして孤立化する可能性が高くなるという。稲谷医師は「今後、心身をきめ細かに見守る環境の体制づくり」と、国との連携が不可欠になると指摘。

「支援を厚くし、被災者に『一人じゃないよ』と伝え続けたい」と話す。

▲日本農業新聞より抜粋

発行

2011

(第3編 被災地対応)

# 病院の実力

～福島編 41

## 病院の実力「災害拠点病院」 医療機関別態勢(読売新聞調べ)

医療機関名	耐震性	食料備蓄量(日)	医薬品備蓄量(日)	被災時の食料・医薬品	被災後の情報システム	被災後の情報システム
岩手医大	2	2	7	×	○	○
県立大船渡	1	3	3~7	×	×	×
盛岡赤十字	1	3	7	×	×	×
県立中部	1	2	3	×	○	○
県立宮古	1	3	3	×	×	×
県立胆沢	1	4	5	×	×	×
県立久慈	1	3	14	×	×	×
県立磐井	1	3	3	×	×	×
県立二戸	1	3	3	×	○	○
県立釜石	2	3	4~5	○	×	×
東北大	2	3	2	×	×	×
仙台市立	1	2	7	○	○	○
東北厚生年金	1	3	5	×	○	○
大崎市民	2	3	5~7	×	×	×
石巻赤十字	1	3	3	×	○	○
仙台赤十字	1	2	3	×	○	○
坂根会	1	3	3	×	○	○
公立刈田総合	1	3	14	○	×	×
みやぎ県済中経	1	3	5	×	○	○
登米市民	2	3	7	×	○	○
栗原中央	1	4	7	×	×	×
太田西ノ内	2	3	10	○	○	○
会津中央	2	20	14~30	×	○	○
いわき市立総合医療大立	2	3	3	○	×	×
県立医大	1	3	7	×	×	×
白河厚生総合	1	7	7	○	○	○
福島赤十字	2	3	10	○	○	○
南相馬市立総合	1	2	3	×	×	×
県立南会津	1	3	7	○	○	○

「患」は患者用 「備」は職員用  
耐震性 1=全館耐震 2=一部耐震  
食料・医薬品 ○=不足なし ×=不足  
情報システム利用状況 ○=利用 ×=利用せず

「患」は患者用 「備」は職員用  
耐震性 1=全館耐震 2=一部耐震  
食料・医薬品 ○=不足なし ×=不足  
情報システム利用状況 ○=利用 ×=利用せず

「患」は患者用 「備」は職員用  
耐震性 1=全館耐震 2=一部耐震  
食料・医薬品 ○=不足なし ×=不足  
情報システム利用状況 ○=利用 ×=利用せず

災害医療の柱となる災害拠点病院は、原則、各都道府県の二次医療圏ごとに1か所ある。読売新聞は4月以降、全国の拠点病院に対してアンケートを実施。一覧表では、被災3県の拠点病院の建物の耐震性、食料や医薬品の備蓄と被

## 災害拠点病院

# 救急診療棟 耐震性満たす

災害の不足の有無、病院の被災情報などをインターネット上で共有する国の「広域災害救急医療情報システム(E.M.I.S.)」(加入していない宮城県は、同県の救急医療情報システム)の利用状況を掲載した。

国が定めた拠点病院の整備基準では、耐震構造を求められているのは救急診療棟だけで、この点はほぼ全病院が満たしていると思われる。

一部の建物が耐震でない病院も建て替えを計画しているところが少ないが、今回の大震災を教訓に、さらなる



**白河厚生総合病院 前原 和平院長**  
**災害時の通信 大切さ実感**

当該は2008年に移転した際、大地震に備えた偽震構造を採り入れた。東日本大震災で白河市内は震度6強を観測したが、当院に損壊はなく、棚からカルテなどが落ちることもなかった。患者に館内から出ないよう指示し、地震発生の50分後には「通常通りの診療を再開する」とアナウンスした。非常食や医薬品の備蓄に関しては大きな混乱はなかった。

一方で、予想外の事態も発生した。当院周辺の水道管が壊れて断水したり、携帯電話の不通で職員と連絡が取れなくなったりした。今後は職員から課題を聞き、災害に関するマニュアルを改訂する予定だ。

今回の震災で痛感したのは、情報発信の大切さだ。行政が機能不全に陥った場合、それぞれの病院が情報を発信しなければならぬ。当院では医師会などへの連絡網を設けており、今回の震災時は患者の受け入れや診療態勢などを関係機関に連絡した。

県病院協会のアンケート調査によると、震災後、被災地の病院から約3000人の患者が移動した。当院は双葉町の病院などから約50人の患者を受け入れた。今回のような広域災害が発生した場合の医療態勢を全県で再検討する必要がある。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。今回は7月3日「うつ病」の予定です。

▲読売新聞より抜粋

糖尿病の初めての記載は紀元前1550年頃のエジプトの医学書のパピルスエベレスと言われている。中国では2世紀の漢の時代に消渴という名前で記載された。症状として耐え難い渇きと止めどもない多尿が特徴であったため当初は腎臓の病気と考えられていた。1774年にイギリスのドブスンが糖尿病患者の尿を煮詰めると底に糖が残ること、患者の血清をなめると甘いことを示し、糖尿病は腎臓の病気ではなく全身病であるとした。1869年にドイツのランゲルハンスが膵組織で島のように散らばって見える細胞の塊(ランゲルハンス島)を発見した。1889年にドイツのメーリンとミンコフスキーが膵臓を全摘した犬が糖尿病になることを発見した。1903年にはアメリカのオピーが重い糖尿病歴を有した患者を解剖すると膵ランゲルハンス島が高度に変性萎縮していることを報告した。以上のことからランゲルハンス島は膵臓の内分泌物を産生しており、その物質を発見すれば糖尿病の神秘の謎が解けると思われ、多くの一流の研究者が挑戦したがいずれも失敗していた。当時の糖尿病患者の経過は悲惨であった。有効な治療法は無く、アメリカのアレンにより飢餓療法が行われていたが、延命できても2か月か3年程度で、餓死かケトアシドーシス性昏睡で死亡していた。1921年5月にカナダのトロント大学で、軍医あがりの外科開業医であった29歳のバンティングが大学院生の22歳のベストを助手として膵内分泌物の抽出に挑戦した。彼は、犬の膵管を結紮し膵の外分泌細胞が変性萎縮するのを待って膵を摘出し冷温で

酸性アルコールを用いて抽出後、抽出物を膵全摘糖尿病犬に静脈注射し血糖の低下を確認した。1922年1月には牛の膵抽出物を、ケトーシスのため死に瀕していた糖尿病患者レナードトンプソンに投与し血糖の低下を確認した。この抽出物はインスリンと命名され、リリー社により大量生産が開始された。こうしてインスリンが患者の治療に使われるようになり多くの糖尿病患者の命が救われた。インスリンの発見は糖尿病の歴史における最大の発見、功績であり、バンティングは1923年にノーベル医学賞を授与され、カナダ初のノーベル賞受賞者となった。今振り返っても、無名の2人の若者の努力によりこの大発見がなされたことは感動的であり、バンティングとベストの偉業を心から讃えたい。

インスリン発見後糖尿病治療は一変し、昏睡の時代から合併症の時代が変わった。1993年にアメリカで1型糖尿病患者を対象に大規模臨床試験(DCCT試験)が行なわれ、強化インスリン療法により血糖を低くコントロールした方が網膜症や腎症が起きにくいし、進行増悪しないことが初めて示された。その後各国で同様の臨床試験が行われ、細小血管症を起こさない、また進行させないための血糖のコントロールの目標は空腹時血糖が130mg/dl未満、食後2時間血糖が180mg/dl未満、HbA<sub>1c</sub>が6.5%未満であることが示された。しかし大血管症に対してはまだエビデンスが十分蓄積されていない。

近年小児、中高年に2型糖尿病が増加している。2型糖尿病は糖尿病になりやすい

体質(遺伝子異常)に環境因子が加わって発症すると考えられている。日本でも2007年に糖尿病患者は890万人に増加したがほとんど2型糖尿病であり、原因として食事量の増加、脂質摂取量の増加、運動不足などが指摘されている。

2009年にヨーロッパ糖尿病学会とアメリカ糖尿病学会の共同で2型糖尿病の治療のアルゴリズムが発表された。それによると治療の中心は食事や運動などのライフスタイルの改善と、薬物療法は信頼できるエビデンスがあり安価なメトフォルミン、SU剤、インスリンであって、低血糖を避けたい場合はピオグリタゾンやGLP1アゴニストを使用するとなっている。日本で広

く使われている $\alpha$ -GIとグリニドは作用が弱いために、DPP-4阻害剤はエビデンスが乏しいために推奨されなかった。今後日本でも費用対効果を考えた2型糖尿病の治療のアルゴリズムが必要かと考える。

最近、治療を中断する糖尿病患者において合併症が進行増悪し重症化する傾向があり問題となっている。当院でも治療中断したためケトosisを発症し救急入院する患者を散見する。治療中断の理由としては経済的な問題が大きいので、主治医は患者を教育しながらエビデンスのしっかりした安価で簡便な薬物療法をおこなうように心がけるべきと思う。

医療安全管理  
対策委員会から  
お知らせ

## 抗凝固剤や抗血小板剤を服用中の方へ

抗凝固剤や抗血小板剤を服用している方が、手術や組織検査(組織を採取して詳しく細胞を調べる検査)を受けられる時は、事前に休薬が必要な場合もあります。

**Q** 抗凝固剤や抗血小板剤とはどのようなお薬ですか?

**A** 「血液をサラサラにする・血液を固まりにくくする・血液の流れを良くする」などと表現されるお薬のことを言います。薬の種類はたくさんあるので主治医に確認して下さい。

**Q** なぜ休薬が必要なのですか?

**A** 血液が止まりにくくなることを防ぐためです。

**Q** 何日前からどれくらい休薬が必要なのですか?

**A** 病状や薬の種類によって異なるので自己判断せず、必ず医師の指示に従って下さい。



どのようなお薬を服用しているのか確認するため、受診の際は医療機関や調剤薬局から提供される『お薬の説明書』や『お薬手帳』または『お薬』を必ずご持参下さい。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



医療安全管理対策委員会  
医薬品対策委員会

特殊外来のご案内

▼助産師外来

助産師外来とは、法で定められている助産師の業務範囲に則り、妊婦健診並びに保健指導が助産師により行われる外来をいいます。

助産師外来のメリットは、安心して妊娠生活が過ごせるような情報をリラックスした雰囲気の中で提供でき、気軽に相談できることです。

- 日時 毎週水曜日 14時～16時 完全予約制
- 場所 産婦人科外来
- 対象 当院で出産予定 妊娠20週前後と妊娠32週前後の方
- 内容
  - 血圧測定 体重測定 尿検査 浮腫の観察 乳房のお手入れ
  - 超音波により赤ちゃんの健やかな成長を一緒に見守ります。
  - 保健指導 質問相談等
- 料金 費用は、通常の妊婦健診に準じます。  
(妊婦健康診査受診票が使用できます)



医療連携登録医療機関の紹介

医療法人 蕉窓会 あつうみ内科医院

院長 厚海 徹

診療科 内科／循環器科／消化器科／小児科

所在地 〒963-6312  
福島県石川郡玉川村大字小高字中畷18-1

電話 0247-37-1544

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	休
午後 2:30～6:00	○	○	休	○	○	休	休

休診日 水曜・土曜午後、日曜・祝日

..... 当施設の紹介 .....

内科・循環器科を中心とした地域密着型の医療機関として診療を行っております。  
また、日本東洋医学会の漢方専門医として漢方薬による治療も積極的に行っています。



市民公開講座「早期胃がん」(仮題)

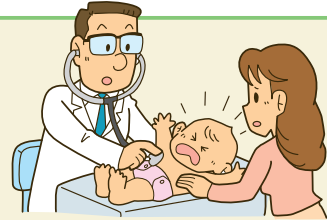
講師 白河厚生総合病院 第一内科  
八田 和久 先生

日時 平成23年11月12日(土)  
14:00~15:30

場所 白河厚生総合病院 2階 大会議室



小児平日夜間  
救急外来のご案内



白河地区において、小児科の救急医療が懸念される状況にあることから、白河医師会の医師の参加および白河厚生総合病院の診療スペースの提供により、平成20年7月1日から平日夜間救急外来を開設しております。

なお、この外来は白河厚生総合病院の診療の延長ではなく、あくまでも救急患者さんに対処するものであることを十分にご理解いただきまして、ご利用されますようお願い申し上げます。

診察時間 午後7時~午後10時(月~金曜日)  
※土曜日、休日救急当番医事業の診療日を除く

診療科目 小児科

診療場所 白河厚生総合病院1階  
「小児平日夜間救急外来」

担当医師 白河医師会の医師  
(県の小児救急医療研修を受講した医師が担当)

こんにちは!

新任・転任です。



白河厚生総合病院では、新しくとても優秀な先生が、新任、転任されました。早く白河での職務に慣れる様精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



名前 いし ばし せい いち  
石橋 誠一  
出身地 福島県郡山市  
略歴 平成13年3月 福島県立あさか開成高校卒業  
平成21年3月 福島県立医科大学卒業  
平成21年4月 寿泉堂総合病院勤務  
平成23年6月 白河厚生総合病院眼科

資格・専門 専門:眼科 資格:英検2級

趣味・娯楽 サッカー、スポーツ観戦

ひとこと 地元住民の方々のお役に立てるよう、精一杯頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



名前 かね ざわ み な  
金澤 美奈  
出身地 埼玉県春日部市  
略歴 平成19年3月 福島県立医科大学卒業  
平成19年4月 同附属病院初期研修  
平成21年4月 同小児科入局  
平成23年7月 白河厚生病院小児科

資格・専門 小児科

趣味・娯楽 スポーツ、ギター、読書

ひとこと まだまだ未熟で不勉強な点多々ありますが、日々精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

# 外来診察目割表

JA 福島厚生連

白河厚生総合病院

☎0248(22)2211

HP: <http://www.shirakawa-kosei.jp/>

●受付時間:午前8時00分から午前11時30分

●休診日:日曜日 / 祝日 / 第1・3土曜日 / 年末年始12月30日~1月3日

平成23年10月1日より

科名	診察時間/診察室	月	火	水	木	金	土
【第一内科】 消化器内科 一般内科	診察室1番 診察室2番 診察室3番 診察室4番	新患担当 医正健 岡本 裕	新患担当 医悠健 中岡 野	新患担当 医久健 八岡 野	新患担当 医夫正 内岡 本	新患担当 医彦正 高岡 本	<第2・4・5は交代で診察>
【第二内科】 循環器内科 一般内科	診察室1番 診察室2番 診察室3番	斎藤 恒儀 大村 卓史	斎藤 富善 田正 次郎	斎藤 恒儀 中村 研一 斎藤 富善(完全予約制) 大和田卓史(11時迄)	斎藤 富善(循環器) 前原 和平(循環器) 泉 次郎	(第1・3・5) 斎藤 恒儀 大村 研一 大和田卓史 (第2・4) 斎藤 富善 泉 次郎	<第2・4・5は交代で診察> 斎藤 富善(完全予約制)
【第三内科】 糖尿・高血圧 代謝・内分泌 一般内科 糖尿病外来	診察室1番 診察室2番	草野 良郎	林 晃	草野 裕樹 (腎臓内科) 草野 良郎	高橋 充彦 (内分泌) 林 晃	草野 良郎 林 晃	草野 良郎
【呼吸器科】 内科 外科		米地 敦	緑川 淳 藤 俊	緑川 淳 前原 和	米地 敦 福 島 医	緑川 淳 谷野 功	緑川 淳/米地 敦 <第2・4・5は交代で診察>
【小児科】	8:30~ 11:30  14:00~	根本 健二 遠藤 起生 (心工コ-外来) 八木 正樹/金澤 美奈 川嶋 明香 福島 医大	村井 弘通 八木 正樹 金澤 美奈 川嶋 明香	根本 健二 村井 弘通 八木 正樹 川嶋 明香	根本 健二 八木 正樹 川嶋 明香 福島 医大	根本 健二 八木 正樹 川嶋 明香 福島 医大	根本 健二 村井 弘通/遠藤 起生 八木 正樹/金澤 美奈 川嶋 明香 <第2・4・5は交代で診察>
		一般外来15:00まで 根本 健二 遠藤 起生 (心工コ-外来) 八木 正樹/金澤 美奈 川嶋 明香 福島 医大 <1ヶ月検診> 受付13:30まで 村井 弘通 八木 正樹 川嶋 明香 <第2・4>鈴木 順造 「腎臓・アレルギー」 疾患外来 根本 健二 村井 弘通 <予防接種> 15:00まで(完全予約制) ( ) (第1・3・5未熟児外来) (第2・4未熟児/慢性) ( ) 根本 健二 村井 弘通 福島 医大					
		( )は根本・村井・遠藤・八木・金澤・川嶋のいずれかが担当					
【心療内科】	8:30~ 13:30~	大塚 健正	大塚 健正	大塚 健正	-	-	-
【神経内科】	8:30~ 11:30	榎本 博之	-	-	-	-	-
【外科】	診察室1番 診察室2番 8:30~ 11:00	川口 桂 黒田 房邦	竹村 真一 土井 孝志	横山 智 黒田 房邦	川口 桂 土井 孝志	竹村 真一 横山 智	<第2・4・5は交代で診察>
		<肛門外科>14:00~ 予約制 竹村 真一			<乳腺外科> 13:30~15:00 <第2・4>黒田 (第1・3・5)土井		<スト-マ外来>13:30~ <第1・3>予約制
【整形外科】	土曜日は 8:30~ 11:00	鈴木 幹夫 茂呂 貴知	鈴木 幹夫 上杉 和秀	上杉 和秀 山岸 栄紀	茂呂 貴知 上杉 和秀	鈴木 幹夫 茂呂 貴知 山岸 栄紀	上杉 和秀 山岸 栄紀
【脳神経外科】	8:30~ 11:00	永山 徹 関 慎太郎	永山 徹 関 慎太郎	手術日	永山 徹(新患 関 慎太郎のみ)	永山 徹 関 慎太郎	応援医師
【産婦人科】	婦人科 産科 8:30~ 11:00  13:30~	山内 隆治 阿部 雄悟 小島 学・大学医師	中村 聡一 阿部 雄悟 小島 学・大学医師	山内 隆治 加藤 謙一 阿部 雄悟・大学医師	中村 聡一 山内 隆治 小島 学・大学医師	中村 聡一 加藤 謙一 阿部 雄悟・小島 学	山内 隆治 中村 聡一 小島 学・大学医師
		<手術>		<1ヶ月検診>	<手術>	<母親学級>	<手術>
【眼科】	13:30~	荒木 聡 石橋 誠一	荒木 聡 石橋 誠一	荒木 聡 石橋 誠一	荒木 聡 石橋 誠一	荒木 聡 石橋 誠一	荒木 聡/石橋 誠一 交代で診察
		<予約外来>		<予約外来>	<手術>	<手術>	
【耳鼻咽喉科】	福島医大 9:00~  13:30~	東北大学病院 9:00~	石川 浩男	石川 浩男	福島医大 9:00~	福島医大 9:00~	福島医大 9:00~
		<検査>		<手術>	<手術>	<特殊外来>	<特殊外来>
【皮膚科】		竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄	竹之下 秀雄
【泌尿器科】		喜屋武 淳 大原 英一郎	喜屋武 淳 大原 英一郎	喜屋武 淳 大原 英一郎	喜屋武 淳 大原 英一郎	喜屋武 淳 大原 英一郎	喜屋武 淳 大原 英一郎
【放射線科】		浦部 真平	浦部 真平	浦部 真平	浦部 真平	福島医大	福島医大
【麻酔科】		岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥	岡崎 美智弥
【心臓血管外科】		佐戸川 弘之	-	-	-	-	-
【リハビリテーション科】		障害者の生活・生命の質の向上・切断・運動器疾患の治療					
【救急室】		24時間体制で救急患者を対応					
【緩和ケア相談外来】						13:30~(予約制)	

平成24年度入学生

# 看護学生募集のお知らせ

## 募集定員

30名(推薦入学を含む(指定校制))

## 修業年限

3年課程(全日制)

## 受験資格

- 次のいずれかに該当する者
  - ①高等学校を卒業した者、または平成24年3月に高等学校卒業見込みの者。
  - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または平成24年3月に修了見込みの者。
2. 医療及び農村医療に情熱を持つ者。

## 願書受付

平成23年12月1日(木)  
～12月16日(金)

## 試験日

【学科】平成24年1月5日(木)  
【面接】平成24年1月6日(金)

## 試験科目

国語総合、数学I、英語I・II、小論文



## 試験会場

白河厚生総合病院附属高等看護学院

## 受験料

30,000円

## 入学金等

入学金 120,000円  
入学時経費 約270,000円  
(教科書、実習衣代含む)  
授業料 年額360,000円

## 卒業後の資格

- 看護師国家試験、保健師・助産師学校、大学への編入試験の受験資格が得られる。
- 専門士(医療専門課程)の称号が付与される。

## 募集要項請求先・方法

出願書類の郵送を希望する場合は、返送先の郵便番号、住所、氏名を明記した返信用の角2封筒(240mm×332mm)に140円切手を貼り、同封の上、下記宛に申し込みください。

## 募集要項請求先

福島県厚生農業協同組合連合会  
白河厚生総合病院附属高等看護学院  
〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1  
TEL:0248-23-4081 FAX:0248-23-4136  
<http://www.shirakawa-kosei.jp/nurse-school/>  
Mail:kouseigk@hyper.ocn.ne.jp

お問い合わせ

福島県厚生農業協同組合連合会

白河厚生総合病院

TEL:(0248)22-2211 FAX:(0248)22-2218 E-Mail:skousei1@shirakawa.ne.jp



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C020493

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

